

事業所名	放課後等デイサービス ほっぶ南区				支援プログラム	作成日	2024年	10月	1日
法人（事業所）理念	【笑顔の想像】 (わたしたちの希望)人としての尊厳を保ち、一人ひとりの夢や希望を大切にします。/愛情いっぱい環境と笑顔であふれるサービスを提供します。/障がい者が地域社会の一員として認められ、いきいきと生活が送れるよう支援いたします。(わたしたちの責任)笑顔を絶やさず、明るく元気に誠意をもって行動いたします。/向上心および探求心をもって資質・能力の向上を目指します。/豊富な知識と高い専門性をもって充実した支援を提供します。(わたしたちの挑戦)柔軟な発想と想像力を大切にして挑戦続けます。地域のみなさんから喜ばれる施設、信頼される法人を目指します。福祉に携わる一員としての自覚と責任をもって行動します。								
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の知的発達に程度に応じた教育を行い社会自立に向けた基本的な能力を養います。</li> <li>・自閉症など他人との意思疎通、対人関係の形成が困難な児童/生徒に対して個別指導、集団学習を通して情緒の安定、発達を促進・社会自立をする上での基礎的な能力を養います。</li> <li>・コミュニケーションをとることが苦手であったり落ち着いて学習に取り組むことが苦手である児童、生徒に対して社会的スキルやコミュニケーション能力を養います。</li> </ul>								
営業時間	平日	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	※送迎はご希望より応じます。 送迎地域：浜松市内の学校・ご家庭		
	学校休日	9時	0分	18時	0分		※送迎時間・人員・車の兼ね合いによって市内学校の送迎が難しい場合も有るため、利用希望の際に要相談。		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安心安全に過ごせる環境を作ります。(パーテーションの使用で刺激の統制、場面の切り替え、クッションマットを床に敷くことによる安全性の強化、スケジュールや活動内容を記したカレンダーを使用した視覚化を行い、環境を整えます。)</li> <li>・施設到着後の手洗い、うがいの声掛け、体温測定、口答にて体調チェックを行います。</li> <li>・体調不良や困ったことがあった際に伝えられる術（ジェスチャーや単語など）を身につけられるよう支援します。</li> <li>・持ち物の管理、道具や遊具の準備や片付け等、身の回りの環境整備を自立的に行えるよう支援します。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題や個別課題の着席して行う時間と、自由に遊ぶ時間、集団活動の時間を設けています。</li> <li>・近くの公園や施設内でのボール遊びなどで大きく体を動かす機会を設けています。</li> <li>・お絵描き、目標書き、季節に合わせた工作、道具を使った活動、おやつ作り等を取り入れ、目と手や体を一緒に動かす練習を行います。</li> <li>・感覚過敏や鈍麻のあるお子さんに対し、カームダウンエリアの提供等を行い、環境調整します。</li> <li>・視覚や聴覚、触覚など感覚を刺激するゲームを行い、感覚を養えるよう支援します。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別課題の中で学校で習った内容の復習を行い定着できるよう支援します。また、苦手部分のスローステップ、保護者からの要望も考慮し、お子さんに合わせた課題を提供します。</li> <li>・施設に着いてからの一日の流れを視覚化し、声掛けなどを行い、自立的に行動できるよう支援します。</li> <li>・遊びと課題を行うスペースを区切り、今は何をやる場面なのかを分かりやすく提示します。</li> <li>・日々同じ流れの中でも変化に応じられるよう、係や送迎者のボードは毎回変えて事前に顔写真で提示します。</li> <li>・変更がある場合は事前にその子に応じた方法(絵/写真/文字)でスケジュールを伝えます。</li> </ul>							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の要求を伝える、助けを求める等、生活の中で自分自身に必要な伝える術を、適切な場面とその子に応じた方法で発揮できるように支援します。</li> <li>・お子さんのニーズに合わせたコミュニケーション手段を活用します。(写真/絵カード、ジェスチャー、文字、単語、文章形成など)</li> <li>・遊びの中で「入れて」「かして」と伺いを立てること、「いいよ」と応じること、または「今使ってる」「あとで」と断ることも、支援員が仲介しながら学んでいきます。</li> <li>・課題の中や係の仕事、お手伝いで楽しく“読む”“書く”を学びます。(考えや好きなことを発表する/クイズ、カードゲーム/目標やメッセージを書く/言葉を読む、書く)</li> <li>・表出だけではなく、受容コミュニケーションも、どのような指示が分かりやすいのかアセスメントを行い、それぞれに合った/理解できる方法で情報を伝えます。</li> </ul>							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情動コントロールの支援として、感情とその時の自分の気持ちの対処法を職員と一緒に考えていきます。また、自分が今どういう状態なのかを自分で理解し、その場合はどうするのかの対処法を実践しながら学びます。</li> <li>・遊びや活動、おやつを通して、順番に行う/ルールを守る/失敗や負けを受け入れる/相手を褒める/感謝する/相手の気持ちを考えて行動するといった、他者と一緒に生活していく際に必要なスキルを身につけます。</li> <li>・活動やおやつの中で自分の意思を伝え/考え、決め、子ども同士でお手伝いの役割分担を行い、他者と協力する機会を作っていきます。(職員が見守り、助言や仲介を行います。)</li> <li>・子ども同士でプラレールのコース作り/お店屋さん作り/道具を使ったゲーム作りなどを考え、実施していく中で他者への気持ちを考える力を学びます。</li> <li>・地域でのイベント参加/公共交通期間の利用/商業施設での買い物体験などを通して社会のルールを学び、生活スキルを向上させます。</li> </ul>							
家族支援	保護者面談（定期面談と必要に応じて不定期面談を行う） 関係機関との連携				移行支援	卒業後の進路先との情報共有 進学、就労、環境の変化に向けての課題提示と実践			
地域支援・地域連携	各関係各所との連携（相談支援事業、他放課後等デイサービス、学校等） 市の開催する虐待防止研修等、研修への参加/子ども部会への参加				職員の質の向上	外部研修 内部研修			
主な行事等	避難訓練（地震・火災・津波、一か月に一回以上）、外出イベント 年1～2回茶話会の開催(保護者向け)								